

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床病態論Ⅱ (消化) (内分泌・代謝) (歯・口腔)	学 期	後 期	澄川 学 (医師) 狩野 卓夫 (医師) 中島 良光 (医師) 澄川 裕之 (歯科医師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目的 (ねらい)	各臓器の解剖生理を理解し、主要な疾患の病態生理、診断・治療について学ぶ。			
目標	消化器疾患、内分泌・代謝疾患、口腔疾患の病態生理、診断、治療を理解する。			
授 業 計 画	担当教員：澄川 学			
	1. 消化			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
	1	肝炎・肝硬変・肝癌	①A型肝炎・B型肝炎・C型肝炎 ②劇症肝炎、DIC ③肝硬変、肝癌	
		その他の肝臓疾患	①アルコール性肝障害、脂肪肝、NASH等	
	2	胆道・膵臓総論	①胆汁、膵液、消化管ホルモン	
		胆道の疾患 膵臓の疾患	①胆石症 ①急性膵炎、慢性膵炎 ②膵癌	
	3	乳腺・乳がん	①乳がんと治療	
	担当教員：狩野 卓夫			
	2. 消化			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
	1	上部消化管疾患	上部消化管疾患各論（食道、胃、十二指腸等）	
	2	下部消化管疾患	下部消化管疾患各論（腸、腹膜等）	
	担当教員：中島 良光			
	3. 内分泌・代謝			
回数	単元項目	内容	授業形態/講義	
1	内分泌系の疾患① 甲状腺疾患	甲状腺疾患の病態・症状・治療 ・甲状腺機能亢進症（バセドウ病） ・甲状腺機能低下症 ・慢性甲状腺炎（橋本病）		
2	内分泌系の疾患② 副腎疾患	副腎疾患の病態・症状・治療 ・クッシング症候群 ・アルドステロン症		
3	代謝系の疾患	糖尿病の病態と合併症・検査・治療		

	担当教員：澄川裕之		
授業計画	4. 歯・口腔 口腔の構造と機能を学習し、口腔の機能障害と口腔の疾患を理解するとともに障害と疾患の予防、療養支援、生活支援のプラン作成・実践ができるような基礎知識を学ぶ。		
	回数	単元項目	内容 授業形態/講義
	1	口腔ケアについて 歯・口腔の構造と理解 疾患の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアとは ・口腔ケアの現状 ・口腔清掃の実際 ・歯および歯周組織 ・歯の異常と疾患 ・歯周組織の疾患 ・齲蝕に継発する疾患（顎骨の炎症）
2	歯・口腔の構造と理解 口腔の疾患と全身との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・口唇および頬部、口蓋、舌、口底・顎下部、顎および顎関節 口腔顎顔面の筋、唾液腺 	
教科書	(消化) 1. 系統看護学講座専門 成人看護学[5] 消化器 医学書院 2. 系統看護学講座専門 臨床外科看護学各論 医学書院 (内分泌・代謝) 1. 系統看護学講座専門 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 (歯・口腔) 1. 系統看護学講座専門 成人看護学[15] 歯・口腔 医学書院		
参考文献	(歯・口腔) ・ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの（日本看護協会出版会）		
評価方法	定期試験 100% 1. 消化【(澄川) 50点、+(狩野) 50点】×0.5 2. 内分泌 (100点×0.3) 3. 歯・口腔 (100点×0.2) 合計 100点満点での結果を最終評価とする。		
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、栄養学、薬理学、病理学総論、看護学、微生物学		
自己学習に関する指針	(消化：澄川) ・解剖・生理学の基礎→病態・病理→病気（病名）へと流れること。 ・難問点は徹底して調べる。 ・繰り返し反復することで記憶。 ・記憶しなければいけないことも多い。 (消化：狩野) ・患者の立場で疾患に興味を持って学習してほしい (歯・口腔) ・授業で触れない部分は自己学習に委ねる。講義のなかで自己学習の部分は明示する。		
その他の 通知事項	随時質問に応じる。		